

京都を歩く

平安朝文学の舞台

浜口俊裕
1997.7.28



紫宸殿 - (東西9間 南北4間) (左近:桜 右近:橘)



清涼殿の御帳台 - 浜床に縹縹縁(うんげんべり)の畳二枚を敷く。獅子と狛犬を置き帳が風に煽られるのを防いだ。



清涼殿 - 丑寅の角の、北の隔てなる御障子は、荒海絵。生きたるものどものおそろしげなる手長・足長などをぞ描きたる。



中宮定子鳥辺野陵



紫式部墓所



盧山寺



下鴨神社



清水寺



東寺五重の塔